

No.	対象	ヒアリング項目(質問)	回答	所管
25	【計画事業8】 男女共同参画の推進	①男女共同参画推進会議のメンバーを教えてください。	村田晶子(学識経験者、会長)、脇坂明(学識経験者、副会長)、井上匡子(学識経験者)、金澤由利子(公募区民)、堀江敦子(公募区民)、渡邊裕晃(公募区民)、戸部正隆(事業者)、藤沢薫(事業者)、下津裕(小学校長)、武部誠(中学校長)、露木勝(地域団体)、乾松雄(地域団体)、柳川信子(地域団体)、人見晃(地域団体)、川端喜美(地域団体)の15名で構成されています。(敬称略)	子ども家庭部 男女共同参画課
		②年間30回以上のセミナー(講座)を開催とありますが、何人参加したのですか。	平成21年度実績としては、”男女共同参画シンポジウム「譲れないもの 大切なもの」五つ星社会をめざして”を実施し、参加者172名でした。また、啓発講座を延べ31講座実施し、延べ757名の参加がありました。	
		③セミナー(講座)に出席した方はどのような方ですか。	平成21年度のシンポジウムでは、テーマの関係もあり年齢の高い層が多く、また男性の参加者は3割弱でした。啓発講座では、区内在住在勤者等の参加が多く、テーマにより差はあるものの、概ね女性8割、男性2割です。なお、育児ママの再就職準備講座(子育て中の女性対象)、おとうさんのためのおもしろおもちゃづくり講座(父と子対象)等は、対象を限定しています。	
26	【計画事業9】 ワークライフバランス (仕事と生活の調和)の 推進	①指標2「コンサルタントを派遣する企業数」に対する22年度達成水準は、30社の目標に対し8社となっています。この8社はどのような企業ですか。	①業種は、情報サービス業の3社が最も多く、卸・小売業、人材派遣業、飲食業、印刷関連業、サービス業が各1社ずつとなっています。また、従業員規模は、8社のうち7社が50名以下の企業となっています。	子ども家庭部 男女共同参画課
		②22年度に実施したワークライフ・バランスセミナー(フォーラム)の規模や内容を教えてください。 ③セミナー(フォーラム)には何社が参加したのですか。また、どのような企業が参加したのですか。	②22年度のワーク・ライフ・バランスセミナーは、50名定員で年3回実施しました。内容は、改正育児・介護休業法のポイント、企業に求められるメンタルヘルス対策(医学的な視点)、企業に求められるメンタルヘルス対策(実務面でのポイント)でした。 ③参加企業は年3回の合計で延べ53社です。主に中小企業の人事・労務担当者が参加していました。	
		④総合評価において、「21年度に引き続き他の模範となるような取組みを行っている企業を優良企業として表彰した」とありますが、どのような企業が表彰されたのですか。	④22年度は、株式会社JR東日本リテールネット(卸・小売業、従業員数1,427名)、株式会社シスカ(介護事業のコンサルティング、従業員数9名)の2社を表彰しました。	

No.	対象	ヒアリング項目(質問)	回答	所管
27	【計画事業13】 子ども発達センターの 移転と児童デイサービスの 拡充	本事業は第二次実行計画の方向性(見込み)が「廃止・終了」となっていますが、「児童デイサービスの拡充」は、どのように拡充され、計画事業として終了するのですか。	別紙 No.27【計画事業13】子ども発達センターの移転と児童デイサービスの拡充のとおり	子ども家庭部 子ども総合センター
28	【計画事業21】 総合運動場及びスポーツ 環境の整備	①「スポーツ環境調査」はどのような結果だったのでしょうか。	区民のスポーツ・運動の傾向について、「健康や体力の保持・増進」を目的として、専門施設ではなく身近な「道路」「公園」で、「散歩」「ウォーキング」等を行っている区民が多いという結果を得ました。	生涯学習コミュニティ課
		②「スポーツ環境調査」結果を踏まえ、現時点では「区民ニーズ」をどのように捉えていますか。	健康の保持・増進を目的として、身近な場所・施設等で軽度な身体活動を行っている区民が多いことから、将来的には健康・体力の維持増進に配慮した「道路」「公園」の整備をしていく必要があると考えます。	